

# 未来の子らへ

# この桜より上へ逃げよ



## 船越小に津波伝承の桜と石碑を設置

船越小学校（佐々木茂人校長、児童136人）に、津波を伝承する桜と石碑が設置されました。これは、NPO法人・さくら並木ネットワークの支援によるもので、同校に到達した津波の高さである海拔18<sup>m</sup>に置かれています。

桜は「ベニシダレザクラ」と呼ばれる品種で、昨年4月16日に植えられました。その後、植樹された意味を伝えるため、同年12月9日に同法人がイギリスにある在英商工会議所の寄付を受け、石碑を建立したものです。タイトルの「未来の子らへ：」は、この石碑に刻まれた言葉。船越小の教職員と、本事業のパイプ

役となった、さくら並木ネットワーク理事の桜野良充さんで考えました。

佐々木校長は、「いくつも出た案の中から、とにかく簡潔でインパクトのある言葉を選んだ。将来、この場所を通る子どもや地域の人が、この桜と石碑で『なぜこの場所に桜が植えられているのか』『この場所がかつて何が起こったのか』を考え、知るきっかけとなってももらえれば」と話します。

船越小学校では今後、この石碑と桜を用いた防災学習などを計画しており、未来へ続く津波の伝承を図る予定です。

## INTERVIEW



NPO法人  
さくら並木ネットワーク

桜野良充さん

桜は、日本人にとって特別な存在です。人間よりも長生きする桜、そして石碑によって、震災の事実が自然と後世に伝承されればと思います。時間が経つと次第に忘れていくのが人間ですが、まちづくりや教育シス

テムの中で、無理なく思い出すことができるように、私たちも活動を通じ協力していきたいと考えています。ご要望がありましたら、当法人（☎03-3329-3987）までご連絡いただければ幸いです。

3.11

ともしびのつどい



昨年3月11日の弥生灯火会の様子

東日本大震災で亡くなった方々をしのび、復興の願いを込め「3・11ともしびのつどい」流し灯籠とキャンドル文字点灯会〜を行います。（流し灯籠には事前申し込みが必要です。）

▽期日 3月11日（水）

▽内容と時間 ▼紙キャンドルでの文字配置開始：午後4時

半 ▼紙キャンドル点灯：午後

5時半 ▼黙とう・海への灯籠

流し：午後6時

※使用する灯籠は、「流し灯籠作

成会」で作ります。

▽場所 ティエフシーやまだ付

近（大沢袴田地区）

◎流し灯籠作成会

▽日時 3月8日（日）午後2時

▽場所 町中央公民館視聴覚室

◆申込先・問い合わせ やまだ

夢プロジェクト（☎080-

2844-19049）へ。

2844-19049）へ。